



### ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状 Challenge from Pitfall Research Committee (PiRC) ピリック

ピットフォール研究専門委員会委員長  
 徳島大学病院 三好雅士

満を持して始まったピットフォール研究専門委員会の新企画「ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状 Challenge from Pitfall Research Committee (PiRC:ピリック)」, 前回のニュースレターはお楽しみいただけたでしょうか。

1症例目の第2号となる本号では、追加情報と解析結果を提示する。

図1に時系列結果(day0は本症例を発見した採血日)と精査所見、表1にCA19-9を他法で測定した結果と関連項目結果を示す。これを基に考察を深め、世代の壁を越えたディスカッションを繰り広げていただきたい。

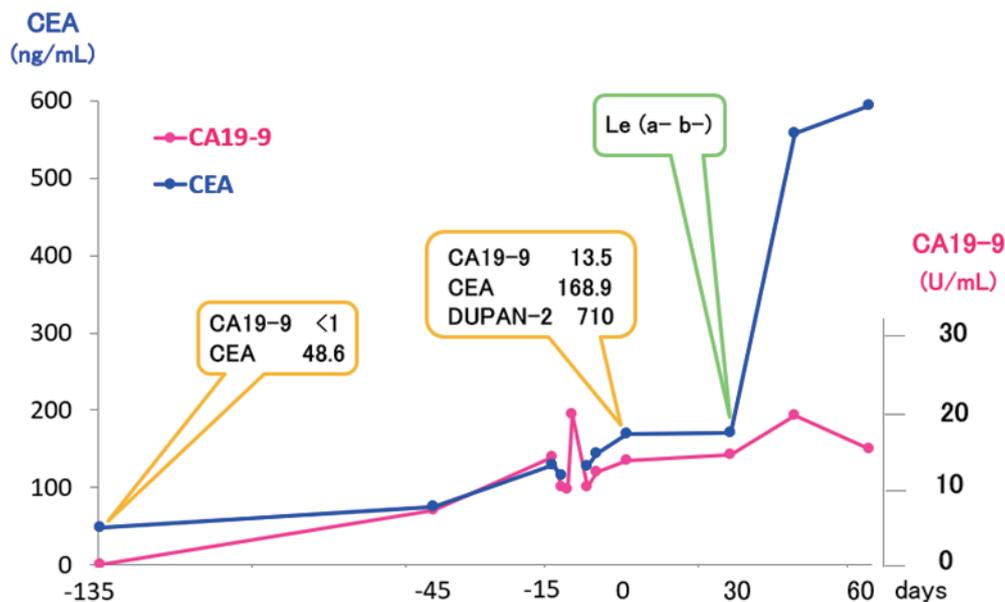


図1. 時系列および精査所見

60 days

CA19-9 (U/mL)			CEA (ng/mL)	DUPAN-2 (U/mL)
エモジュール <sup>1)</sup>	ルミパルス <sup>2)</sup>	RIA <sup>3)</sup>		
14.9	19.5	35.9	594.0	650

1) Modular Analytics E170 module :

Electrochemiluminescence immunoassay (ECLIA) (Roche Diagnostics Co., Tokyo, Japan)

2) Lumipulse f : Chemiluminescence enzyme immunoassay (Fujiirebio Co., Tokyo, Japan)

3) Radioimmunoassay (Centocor, ).

表1. 各測定法における測定値の比較

## ピットフォール研究専門委員会の活動

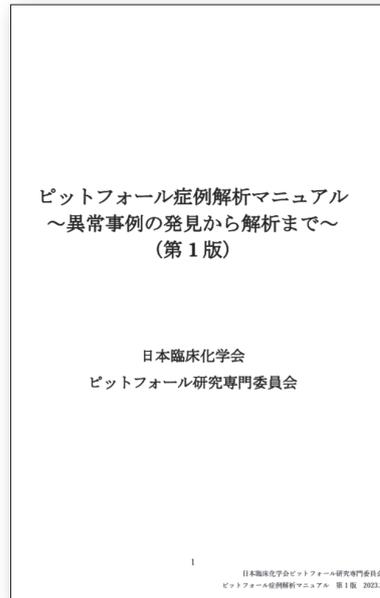
【ピットフォール解析マニュアル ～異常事例の発見から解析まで～】 [https://jsc-jp.gr.jp/?page\\_id=2911](https://jsc-jp.gr.jp/?page_id=2911)

臨床化学・免疫血清検査は自動化・標準化が進んだ領域であるが、我々を誤った判断へと導く様々なピットフォールが存在する。日常検査においては、時としてこのような患者の病態を反映しない非特異反応、ひいてはピットフォール事例に遭遇することがあるが、業務が忙しい、解析法がわからない、などの理由により原因究明に至らない事例も多いのではないだろうか。



こういった事例の中には貴重な症例が潜んでいる可能性もあり、限りある貴重な検体を適切に解析することが必要と考える。そのためには解析方法について正しく理解することが重要であり、委員会では、解析チャートや解析方法についての目的、原理、解釈、注意点などをまとめ、2023年3月より日本臨床化学会のホームページで「ピットフォール解析マニュアル ～異常事例の発見から解析まで～」として公開している。

本マニュアルを有効活用いただき、ピットフォール解析に関する理解を深めるとともに、その魅力にも触れていただきたい。



目次

作成にあたって

① ピットフォール疑い事例の発見  
② 解析前の確認事項  
③ 解析チャート  
④ 各論

確認方法

① 反応タイムコースの確認  
② 他の試薬・測定方法による確認

解析方法

- 希釈直線性試験
- 添加回収試験
- 試薬成分添加試験
- 血清蛋白・リボ蛋白分離電気泳動
- アインザイム電気泳動
- ポリエチレングリコール (PEG) 処理
- 免疫グロブリン吸収試験
- 異好抗体阻止試験
- 還元処理
- ゲル濾過分析
- ウエスタンブロット法
- シアテスト
- 検体の不活性化
- ノイラミニダーゼ処理

### 〈ピットフォール症例解析マニュアルのご使用について〉

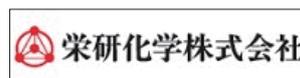
基本的には個人の研鑽や検査室での参考資料としてご利用ください。  
発表等で使用いただく場合は出典元を明示の上、学術目的での利用に限ります。  
また、一部抜粋・改変しての使用はご遠慮ください。

なお、学術目的の利用であっても、研修会・研究会など公の場での配布は  
日本臨床化学会の許可を要します。事務局へお問い合わせください。

### バナー広告掲載のお願い

本学会は、産官学が協調する学会で、学会員としては、医師、薬剤師、臨床検査技師などの医療従事者および臨床検査関連企業の社員が参加しています。そのため、情報の迅速な発信を目的としてホームページにバナー広告を掲載しております。より多くの企業の方にご利用いただきたくご検討をお願い致します。

バナー広告申込み：[https://jsc-jp.gr.jp/?page\\_id=631](https://jsc-jp.gr.jp/?page_id=631)



編集・発行：一般社団法人日本臨床化学会

104-0033 東京都中央区新川一丁目28番23号東京ダイヤビルディング5号館9階  
(株)エム・シー・アイ内 日本臨床化学会事務局  
TEL：03-6367-6225 FAX: 03-6367-6235 E-mail:jsc@mc-i.co.jp

<https://jsc-jp.gr.jp/>